PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-139630

(43)Date of publication of application: 29.05.1990

(51)Int.CI.

G06F 9/06 G06F 9/46

(21)Application number: 63-292373

(71)Applicant: TOSHIBA CORP

(22)Date of filing:

21.11.1988

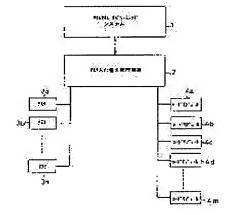
(72)Inventor: NAKANISHI TAKASHI

(54) ONLINE TASK EXCHANGE DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the reduction of the operating ratio of a system by exchanging a temporary task generated by a temporary task generating means and an old task at the time when it is discriminated by a task exchange time discriminating means that task exchange is possible.

CONSTITUTION: A real time OS 1 selects not only several tasks out of plural tasks 3a to 3n by multitasking but also load modules designated by selected tasks out of plural load modules 4a to 4m to process them in parallel. A new load module to be the exchange object is registered in an idle area by a load module register means 2, and a temporary task generating means 2 generates a temporary task corresponding to this new load module. When it is discriminated by a task exchange time discriminating means 2 thereafter that task exchange is possible, the temporary task and the old task are exchanged by the task exchanging means 2. Thus, the reduction of the operating ratio of the system is prevented.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

◎ 公開特許公報(A) 平2-139630

®Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

③公開 平成2年(1990)5月29日

G 06 F 9/06

410 K 340 Z 7361—5B 7056—5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

60発明の名称

オンラインタスク入替え装置

②特 顧 昭63-292373

@出 顧 昭63(1988)11月21日

⑩発明者 中西

華東京都府中市東芝町1番地株式会社東芝府中工場内

⑪出 顋 人 株式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

四代 理 人 弁理士 三好 保男 外1名

明知音

1. 発明の名称

オンラインタスク入替え装置

2. 特許請求の範囲

(1) マルチタスキング処理を実行するリアルタイム OSを使用した計算機システムのタスク入れ替えを行なうオンラインタスク入替え装置において、

タスクの入れ替え指令が入力されたとき入れ替え対象となる新たなロードモジュールを前記計算機システムの空きエリア内に登録するロードモジュール登録手段と、

前記新たなロードモジュールに対応した仮のタ スクを生成する仮タスク生成手段と、

前記計算機システムの動作をチェツクし、タスク入れ替え可能か否かを判定するタスク入れ替え時期判定手段と、

このタスク入れ替え時期判定手段によってタスク入れ替え可能と判定されたとき前記仮クスク生成手段によって生成された仮のタスクと旧クスク

とを入れ替えるタスク入れ替え手段と、

を備えたことを特徴とするオンラインタスク人替え装置。

3. 発明の詳細な説明

(発明の目的)

(産業上の利用分野)

本発明はマルチタスキング可能な OSの下で使用されるオンラインタスク入替え装置に関する。

(従来の技術)

マルチタスキング可能なOSを使用する従来の計算機システムにおいては、プログラムを構成する各タスクを選択してこのタスクによって指定されたロードモジュールを実行し種々の処理を行なっている。

(発明が解決しようとする課題)

ところでこのような計算機システムにおいては、プログラムのバージョンアップなどによってタスクの入れ替えが必要になったとき、タスクの入れ替え対象となる旧タスクをリアルタイムOSの管理から一旦削除し、この後新規のロードモジ

ュールを生成してこれに対応する新たなタスクを登録するようにしていたので、旧タスクを削除した時点から新たなタスクを登録し終えるまで、このタスクを使用することができず、システムの動作を中断させなければならないという問題があった。

また、新たなタスクにバグなどがあり、これを旧バージョンのタスクに入れ替えるときにも上述したタスク入れ替えと同様な作業を行なわなければならず、その作業が面倒であるとともに、システムの動作を中断させなければならないという問題があった。

特に、小規模なリアルタイムOSにおいては、タスク個々にロードモジュールの管理をしていないため、タスクの更新を行なうとき、システム下の全てのタスクに対応するロードモジュールを一括して結合させてシステム全体で1つのロードモジュールを作成しなければならない。

このため、上述したシステムよりタスクの入れ 替えに時間がかかり、システムの中断も長期に及

タスク入替え装置において、タスクの入れ替え指令が入力されたとき入れ替え対象となる新たなロードモジュールを前記計算機システムの空きエリア内に登録するロードモジュール登録手段と、

前記新たなロードモジュールに対応した仮のタスクを生成する仮タスク生成手段と、前記計算機システムの動作をチェツクし、タスク入れ替え時期判定手段によってといるのタスクと明まれたとき前記仮タスクと成手段によって生成された仮のタスクと開えたとを特徴としている。

(作用)

上記の構成において、ロードモジュール登録 手段によって入れ替え対象となる新たなロードモジュールが空きエリアに登録され、これに対応して仮タスク生成手段がこの新たなロードモジュールに対応した仮のタスクを生成し、この後タスク入れ替え時期判定手段によってタスクの入れ替え ۵: °

またタスクを入れ替えるタイミングが管理できないため、実行中のタスクを実行途中で中断させてしまい、機能の中断やシステム資源を排出したままにしてしまう等のシステム障害を引き起こすことがあった。

本発明は上記の事情に鑑み、オンラインリアルタイムで動作中のシステムを中断させることなく、またタスクの入れ替えに起因するシステム障害を引き起こすことなく旧タスクを新タスクに、また新タスクを旧タスクに入れ替えを行なうことができ、これによってシステムの稼動率の低下を防止することができるオンラインタスク入替え装置を提供することを目的としている。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段)

上記の目的を達成するために本発明によるオンラインタスク入替え装置は、マルチタスキング処理を実行するリアルタイムOSを使用した計算機システムのタスク入れ替えを行なうオンライン

が可能と判定されれば、タスク入れ替え手段によって仮のタスクと旧タスクとが入れ替えられる。

(実施例)

第1図は本発明によるオンラインタスク入替 え装置の一実施例を示す概念図である。

この図に示すオンラインタスク入替え装置は、リアルタイムOSIと、タスク入れ替え管理装置2と、複数のタスク3a~3nと、複数のロードモジュール4a~4mとを確えており、タスクの入れ替えが必要になったときタスク入れ替え管理装置2によってタスクの入れ替えが行われる。

リアルタイムOS1は、このタスク入れ替え装置が設けられる計算機システムのOSであり、マルチタスキングによって複数のタスク3a~3nのうちのいくつか選択するとともに、複数のロードモジュール4a~4mのうち、選択されているタスクによって指定されたロードモジュールを選択してこれらを並行処理する。

またタスク入れ替え管理装置2は、前記リアルタイム0S1の管理の下にタスクの入れ替え処理

を実行するタスクであり、タスク入れ替え時に入れ替え対象となるロードモジュールの登録処理、 旧タスク上に新タスクをオーバーライトする処理 などを実行してタスクの入れ替えを行なう。

次に、第2図および第3図に示すフローチャートを参照しながらこの実施例の動作を説明する。 まず、タスクの入れ替え指令が入力されれば、 タスク入れ替え管理装置2は第2図に示すタスク 入れ替え処理の実行を開始する。

この処理では、タスク入れ替え管理装置 2 は、まず計算機システムを構成する主メモリ (図示は省略する)の空きエリアに入れ替え対象となる新たなロードモジュール L M (n+i) を登録する (ステップ S T 1)。

次いで、タスク人れ替え管理装置 2 は、このロードモジュール L M (n+1) を対象とするタスク T A S K (n+1) を生成し、これを仮のタスクとして登録した後 (ステップ S T 2) 、今、タスクの人れ替えが可能かどうかをチェツクする (ステップ S T 3)。

の情報をオーバーライトしてタスクの書き換えを 行なう(ステップST5)。

この後、入れ替えによりタスクTASK(n+i) はタスクTASK(n) となってステップST1〇 から実行が開始される。

また上述した動作において、タスク入れ替え中にタスクTASK(n)に対する処理要求が発生した場合、このタスクTASK(n)に対する起動情報が蓄積される。そして、タスク入れ替え後に再開された新タスクのステップST10により蓄積されている処理要求が取り出され、この処理要求が取り出され、この処理要求が入れ替え中に発生した処理要求がタスク入れ替え後の新タスクによって処理される。

この後、旧クスクTASK(n) に戻す必要がある場合には、タスク入れ替え管理装置2は、空きエリアに転送した旧タスクTASK(n) の情報を残す(ステップST6)。

また、旧タスクTASK(n) に戻す必要がない 場合には、タスク入れ替え管理装置2は、前記空 きエリアにある旧タスクTASK(n) の情報を削 ここで、第3図に示す如く入れ替え対象となるタスクは起動情報が来るまで待つ部分(ステップST11)と、起動された情報を取り出す部分(ステップST11)と、起動された情報に応じた処理部分(ステップST12)とを備えており、1回の処理が終了すると再度起動待ちになるようなループ構造になっている。

したがって、タスクの入れ替えが指定されたとき、被入れ替えタスクの処理が完了していなければ(ステップST11、ST12)、タスク入れ替え管理装置2は、タスクの処理が終了し、タスクの入れ替えによって障害が引き起こされないような状態(ステップST10)まで待機状態になる(ステップST4)。

そして、このタスクの処理が完了して次のタスクの起動待ち状態になれば(ステップST10)、タスク人れ替え管理装置2は、入れ替え対象となっている旧タスクTASK(n) の管理テーブル上にある情報を他の空きエリアに転送した後、この管理テーブル上に前記仮のタスクTASK(n+1)

除するとともに (ステップ S T 7) 、この 旧 タス ク T A S K (n) が 使用 していた 資源 を 開放させる (ステップ S T 8)。

またこの実施例においては、旧タスクTASK (n) を完全に必要としなくなるまで、この旧タス クTASK(n) の情報を空きエリア上に残すよう にしているので、旧タスクTASK(n) を容易に 復元することができる。

[発明の効果]

以上説明したように本発明によれば、オンラインリアルタイムで動作中のシステムを中断させることなく、またタスクの入れ替えに起因するシステム障害を引き起こすことなく旧タスクを新タスクに、また新タスクを旧タスクに入れ替えを行なうことができ、これによってシステムの稼動率の低下を防止することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるオンラインタスク入替え 装置の一実施例を示すプロック図、第2図は同実 施例の動作例を示すフローチャート、第3図は同 実施例の動作例を示すフローチャートである。

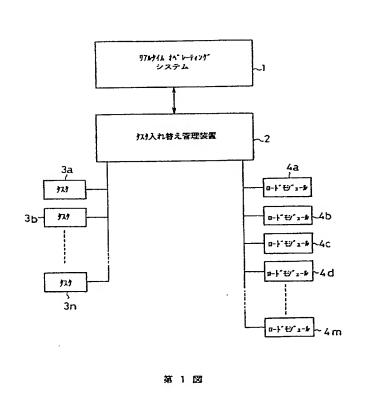
1 … リアルタイム O S

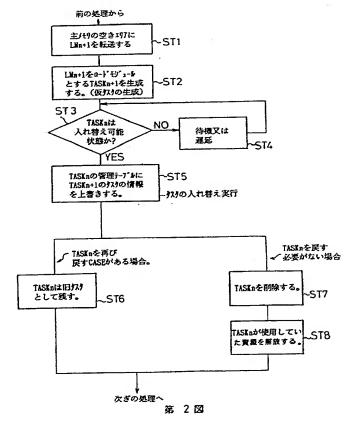
2 … ロードモジュール登録手段、仮タスク生成 手段、タスク入れ替え時期判定手段、タス ク入れ替え手段(タスク入れ替え管理装置)

3 a ~ 3 n ... 9 x 2

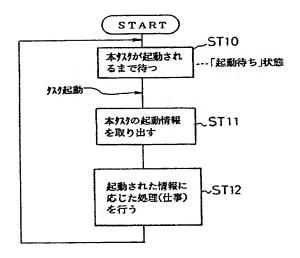
4 a ~ 4 m … ロードモジュール

代理人弁理士 三 好 保 男





-178-



第 3 図